



# 瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



主日の説教

今日のみことば

待降節第1主日 A年(2022年11月27日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：イザヤ書 2章1—5節

第二朗読：ローマの信徒への手紙 13章11—14a節

福音朗読：マタイによる福音書 24章37—44節

## 目を覚ましていなさい

クリスマス待ち望み、その準備の四週間が待降節ですが、第一主日では毎年「目を覚ましていなさい」という呼びかけを含む福音の箇所が読まれます。幼子イエスの誕生を待ち望みながら、主キリストが再び来られるという、主の来臨を教会は待ち望みます。終わりの時、主は来られます。それは世界のすべてがキリストのもとに集められ、世界が完成する時です。その時がいつやって来るのかはわかりません。しかし、必ず主は来られると信じて「目を覚まして」いなければならないのです。

### 【あじわいのポイント】

第一朗読は、いつか「終わりの日」がやって来ることを見すえて、今の生き方を見直すために「主の教え」、「御言葉」に耳を傾けつつ、「主の光の中を歩もう」(5節)と呼びかけています。

第二朗読は「救いは近づいている」(11節)、「日は近づいた」(12節)と次第に近づいてくる救いの時を意識させる朗読箇所です。近づきつつある決定的な救いの時にふさわしくあるかどうか問われています。ふさわしくあるためには「光の武具」であるキリストを身に着けなければならないのです。

福音朗読でわたしたちは「人の子が来る」(37節)と耳にしました。イエスさまは来られる方です。いつ来られるのかはわかりません。しかし、必ず来られる方です。必ず「来る」と信じて、待ち続けることができるとしたら、わたしたちの人生に対する態度は少し変わっていくでしょう。待つこと、それがわたしたちの信仰の根本姿勢です。

「目を覚ましていなさい」(42節)という呼びかけは、日常の生活の中にどっぷりと浸<sup>つ</sup>かったわたしたちに、すべてをつかさどる神さまの存在<sup>そんざい</sup>を気づかせるものとなります。

## ミサの新しい式文に寄せて(1)

今日から、ミサの式文が変わります。慣れるまでに時間がかかりますが、この機会<sup>きかい</sup>にじっくりとミサの式文を味わいながら、ミサに参加しましょう。

「主よ、いつくしみを わたしたちに」

「あわれみ」が正しいのか? 「いつくしみ」が正しいのか? この議論<sup>ぎろん</sup>は決着<sup>けつちやく</sup>が付きません。むしろ、味わってほしいのは、「いつくしみ」という言葉にこめられた語感<sup>ごかん</sup>です。「いつくしむ」は「慈<sup>いつく</sup>しむ」とも書きますし、「愛<sup>いつく</sup>しむ」とも書きます。小さいもの<sup>まも</sup>を守る、大切にするイメージがあります。

主イエス・キリストは愛の方です。いえ、イエスさまは愛そのものです。父なる神さまの「慈<sup>じゆうまん</sup>しみ」の思いがイエスさまの中にすべて充満しています。そして、イエスさまは人々へ「愛<sup>じゆうまん</sup>しみ」を十字架にいたるまで示<sup>しめ</sup>されました。実行<sup>じっこう</sup>なさいました。ですから、十字架は神さまの「慈<sup>じゆうまん</sup>しみ」と「愛<sup>じゆうまん</sup>しみ」<sup>あらわ</sup>を表しています。

その、「愛<sup>じゆうまん</sup>しみ」そのものである方に、わたしたちはミサのはじめに心から願<sup>ねが</sup>うのです。「主よ、いつくしみを わたしたちに」。しかも、「わたしに愛<sup>じゆうまん</sup>しみをください」の祈りではなく、「わたしたちに」<sup>つど</sup>くださいの祈りです。ここでのわたしたちとは、ミサに集<sup>つど</sup>う人々であり、その家族であり、友人<sup>ひ</sup>であり、引いては社会全体であり、人類全体なのです。

「主よ」と願います。ここでの「主」とは、「主イエス・キリスト」であることに注意してください。罪人<sup>つみびと</sup>であるわたしたちは神さまに直接<sup>ちよくせつ</sup>、「慈<sup>じゆうまん</sup>しみ」を願えません。それほど、小さく、貧しく、罪<sup>つみぶか</sup>深いのです。でも、イエスさまのおかげで、堂々<sup>どうどう</sup>と、力強く、しかも心をこめて「主よ、いつくしみを わたしたちに」「キリストよ、いつくしみを わたしたちに」と祈り、求めることができるのです。

